

きっと授業に役に立つ！ 「かなれき講演会」(オンライン: zoom)

気候変動・気候危機・気候正義とわたしたち

～海から見る地球～

講師：武本 ^{まさひろ} 匡弘さん

プロダイバー。環境活動家。
NPO法人気候危機対策ネットワーク代表。
日本サンゴ礁学会会員。
日本自然科学写真協会会員。
(公財) 第5福竜丸平和協会協力会員。
2019年藤沢市に「エコショップ パパラギ」開設。
神奈川県在住



日時：2021年11月21日(日) 13:30～15:30



世界中の海に潜って40数年のベテランダイバーの武本匡弘さんは、「ダイビングし始めの20年間はどこもきれいだった。しかし、後半の20年、特にこの10年間はサンゴがひどい状況にある。」と話す。

どうしてそうなってしまったのか？

撮影された写真を見ながら、地球と自分の暮らしについて考え、「海」からの視点でSDGsや、気候、環境問題を考えましょう。

主催：神奈川県歴史教育者協議会

連絡先：kanareki.jimukyoku@ozzio.jp (持田)

★★申し込み★★

11月14日(日)までに下記URLかQRコードから移るフォームを用いて、そちらでお申込みください。後日、ZoomのURLをお送りします。

<https://forms.gle/rBz8zkVnCDfG1VG66>

上記URLか

右のQRコードで申込フォームに移ります。



講師紹介

武本 ^{まさひろ} 匡弘さん

20代でダイビング会社を起業し国内外で事業展開してきたけれど、退職し環境活動家になったとのこと。ヨットで太平洋を航海し、気候危機を実感してきたそうです。その豊かな経験と調査に基づいたお話は、大人だけでなく子どもたちをも環境と向き合わせる力を持っているようです。

環境問題についての各種学習会や講演会、太平洋探査船(ヨット)「Velvet Moon」乗船会、海岸ウォーキング・生物観察会など、様々な活動をされています。

また、「すべての軍事行動は環境破壊」ということで、原水爆禁止の大会や「3・1ピキニデー」などの平和運動にも関わられています。

2019年には藤沢駅の近くに「エコショップ パパラギ」を開設しました。そこでは私たちが環境にやさしい食べ物や脱プラスチック製品を購入することができます。学習会も随時行われています。



歴史教育者協議会とは？

歴史教育者協議会（歴教協:一般社団法人）は1949年7月14日に誕生しました。全国の都道府県組織と地域・学園ごとに支部組織をもち、1600人ほどの会員と、月刊誌『歴史地理教育』の読者をもち活動しています。神奈川県歴教協が「かなれき」です。

歴教協では、すべての子どもたちが主権者として育っていけるような、楽しくわかる社会科の授業づくりに取り組んでいます。また、地域の民衆の生活と歴史を掘りおこし、深く歴史と現代を学ぶ活動をすすめています。会員には、幼稚園から大学までの教員をはじめ、歴史教育や歴史の学習・研究に関心をもつ多くの市民が加わっています。

全国各都道府県組織、各地域・学園ごとの支部では、それぞれに歴史や現代の諸問題を学びあったり、社会科の授業や教育をめぐる実践報告を出しあったりしています。また、韓国や中国の教員と授業実践に関わる交流もおこなっています。そうした研究と学習、交流の成果は、毎年夏に開かれる全国大会に持ち寄られ、さらに深められています。

神奈川県歴史教育者協議会（かなれき）とは？

小・中・高校・大学の教師や研究者、市民が集まって、社会科の授業や学校、生徒のこと、地域のことなどを報告しあい、自由に話し合い、交流して、学びあっています。神奈川県内に4つの支部があります。

*湘南支部 *川崎支部 *横浜支部

*Youth Salon：35歳未満が参加条件。

◎入会を希望される方は、おもて面の問い合わせ先にご連絡下さい。お待ちしております。

